

2011国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2011



2011年11月11日(金)授業の一環として生産技術科全員が、東京ビッグサイトで開かれた「2011 国際ロボット展」「先端材料技術展 2011」に行ってきました。



「国際ロボット展」・「SAMPE JAPAN」HPより



 見学レポート (一部抜粋) 

	製品や技術の名称	なぜ興味や関心を持ったか	感想/コメント
製造用ロボット	アーク溶接ロボット	自動で溶接をしていたから。	人が危険な所などを溶接するにはとてもいいロボットだと思う。
サービス用ロボット	オフィスエリア清掃ロボットシステム	従来型のロボットよりもスリムでコンパクトな形状で、狭い場所でもジャイロセンサやレーザー側距によって回避制御を行うところに興味を持った。	今回展示していたロボットは、オフィス用のものだったが、改良して吸引力を高めたりすれば工場内の清掃もさせることができるのではないかと思った。
先端材料	フッ素グリース	高温な場所でも性質が変化しづらく使い勝手が良いところ。	便利な材料、部品が増えることにより、それが使われるロボットや機械、家電が発達し便利になったり、今まで出来なかったようなことを出来るようになると思った。
部品供給装置	NTNパーツフィーダ	バラバラに置いてある部分をきれいに並べて一定の姿勢で送り出していて、今まで見たこともなく知らなかったので興味を持った。	金属部品だけではなく、プラスチックや食品などいろいろなものを整列させることができ、すごいと思った。色んな物を整列させて供給させることが出来るから、色々な場所で使用されているのだなと思った。